

まいど。



行啓通商店街 マルシェ

～小学生の夢のお弁当～

SAPP_RG

November
vol. 21

10月19日、編集部は行啓通商店街のマルシェを取材しました！

行啓通商店街は、その名のとおり、中央区南14条を東西に走る行啓通に位置します。

「行啓通商店街マルシェ」では山鼻小学校5年生考案の献立による喜久ーさん謹製のお弁当のほか、産直新鮮野菜、ポップコーンなどが販売されました。



山鼻小学校5年生は、毎年、総合学習プログラム「山鼻弁当プロジェクト」に取り組みます。商店街のお弁当店「喜久ー」の伊藤社長にアドバイスをもらいながら献立を考え、商店街のマルシェで販売体験を行います。

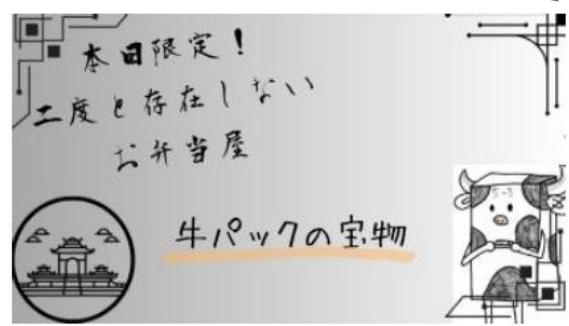


児童たちによる熱のこもった献立のプレゼンに伊藤社長が真剣に応えます。

夢のお弁当の図案はこちら👉



喜久ーさんからお弁当の試作品が納品されました。お弁当のチラシや掛け紙も児童たちがデザインします。



素敵なチラシと掛け紙が完成しました！

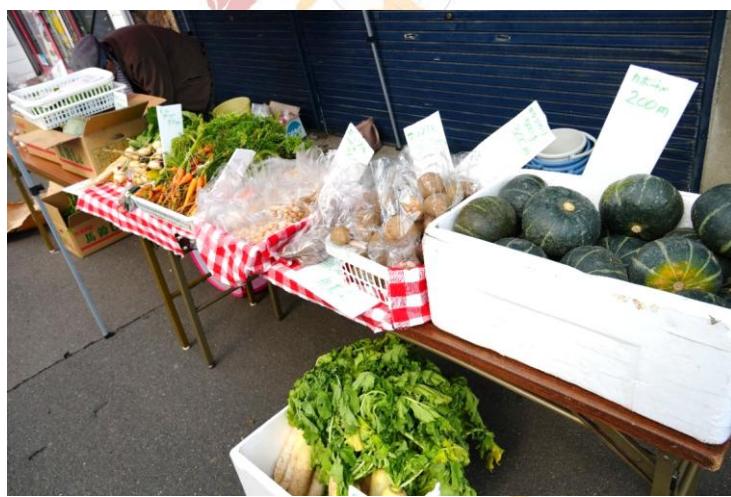
10月19日

マルシェ当日を迎えました。
みんなで協力して準備に取り掛かります！



10時05分、喜久一さんの第一便が到着
2回のピストン輸送で合計300個のお弁当が届きました！

児童たちが続々と集まり、それぞれの持ち場で準備に取り掛かります！



野菜販売の準備もバッチリ！

心を込めて手作りの掛け紙をお弁当に掛けていきます。



行列は続くよ どこまでも♪

11時、いよいよ販売開始です！



慣れない接客・会計に一生懸命に取り組みました！



お値打ち野菜がいっぱい！



行列に並んだ方への営業も余念がありません！



ポップコーンはちびっこに大人気！

食いしん坊H記者は2組の
デリカラ弁当を実食！
ご飯は2種類、鮭は漬け魚、
味わい豊かな楽しいお弁当
でした！



地域に根差した小学校の
学習に貢献でき、またこのように
多くの人が集まってくれて、
とてもうれしくやりがいを
感じています！



子供達が一生懸命
考えたお弁当を、
スタッフ皆で心を込めて
美味しく作りました！



今回の取組に毎年全面協力している
喜久一本店（創業大正12年）伊藤社長

行啓通商店街 藤井理事長

行啓通商店街では
年中いろいろな
イベントが
目白押しです！



6月 ふれあい広場



8月 行啓盆踊り大会



10月 ハロウィン・イルミネーション



12月 クリスマス・イルミネーション

2月 まちの灯り
&バレンタインデーフォトブース

札幌市の商店街支援制度のご紹介

「ふれあい広場」「盆踊り大会」「マルシェ」は**商店街地域力向上支援事業（にぎわいづくり型）**の採択事業です。



商店街地域力向上支援事業 (にぎわいづくり型)

商店街が実施する夏祭りやアイスキャンドルなど、**にぎわい創出**のイベント等に対する補助

単独型
(1商店街で申請)

補助上限 20万円

補助率 3分の2

連携型
(複数商店街で申請)

補助上限 25万円
×商店街数
(最大100万円)

補助率 3分の2

行啓通商店街振興組合

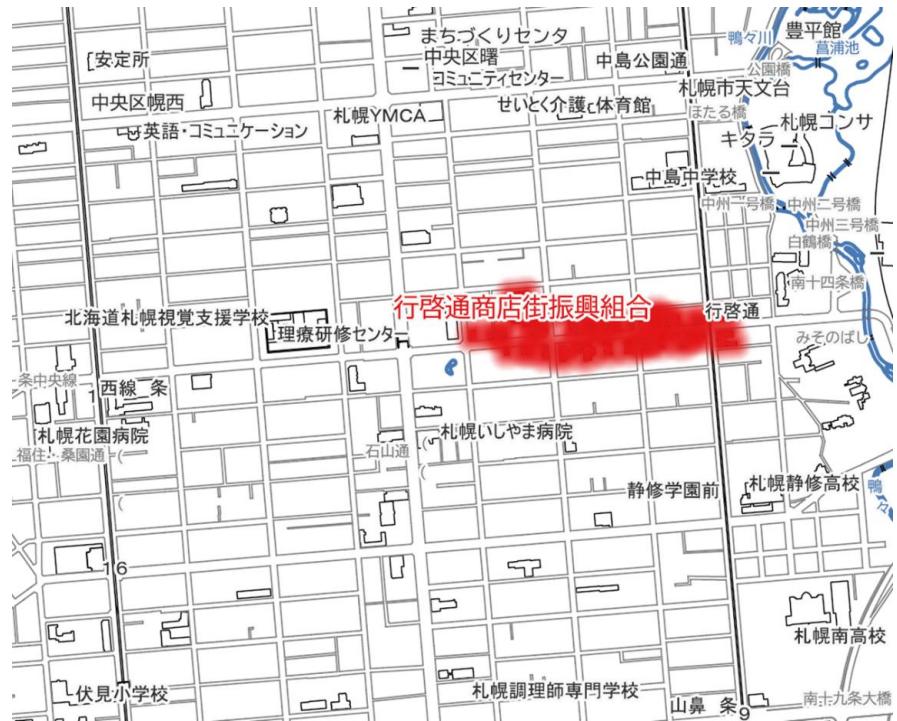
設立：1964年10月24日

組合員数：43

行啓通商店街は、組合員の相互扶助・事業発展のほか、地域のための環境整備活動に取り組み、行啓通やポケットパークで様々なイベント等を行っています。



Instagram



file:003

「お声がかりの柏」の行方

SHOPPING STREET
GEOGRAPHIC



編集長の独り言

#21

秋が一番
好きなのに、
ものすごく
短くなって
悲しい。

明治14年、明治天皇は東北・北海道視察で山鼻小学校に立ち寄られた際、大きな柏の木に目を留められ、木の名前を問われた。このことを伝え聞いた山鼻の人たちは、この木を「お声がかりの柏」と呼び、大切にしてきたそうだ。しかし、昭和51年、推定樹齢230年の老木は根から幼木を残して枯れてしまったために切り倒されてしまった。2世の幼木は山鼻公園と山鼻小学校へ移植され、今日も街を静かに見守っている。



山鼻公園へ移植された木



山鼻小学校へ移植された木

求む！